

一般調査報告書

天皇誕生日祝賀レセプションにおける愛知県ブース出展

1 天皇誕生日祝賀レセプションとは

天皇誕生日（現・2月23日）は、日本の「国民の祝日」として定められており、国内においては皇居での一般参賀が行われるほか、国外においても、その時期に合わせて在外公館（日本大使館、総領事館等）が祝賀レセプションを開催しています。これらのレセプションは、開催国・地域の政府関係者、各国外交団、在留邦人、経済・文化関係者など幅広い関係者を招き、日本の文化や地域の魅力を紹介するとともに、相互理解の促進や交流の拡大を図る機会となっています。

各会場では、生け花、茶道、琴の演奏など日本の伝統文化を紹介する催しが行われるほか、日本企業や地方自治体等による展示ブースも設けられ、日本各地の観光資源、産業、特産品、先端技術等が来場者に向けて幅広く発信されています。こうした取組により、祝賀行事としての性格に加え、日本の多面的な魅力を総合的に紹介する機会ともなっています。

愛知県上海産業情報センターでは、今年度、中国国内で開催される当該レセプションのうち5会場^{※1}において、愛知県ブースを出展します。本レポートでは、そのうち在中国日本国大使館において開催されたレセプションを取り上げ、会場の概要と愛知県ブースの出展内容等について報告します。

- ※1 在中国日本国大使館（2026年2月27日（金）開催）
- 在青島日本国総領事館（同年3月5日（木）開催）
- 在広州日本国総領事館（同年3月10日（月）開催）
- 在上海日本国総領事館（同年3月12日（木）開催）
- 在重慶日本国総領事館（同年3月23日（月）開催）

2 在中国日本大使館天皇誕生日祝賀レセプションの概要

2026年2月27日（金）18時から20時まで、在中国日本国大使公邸（中国北京市）において、天皇誕生日祝賀レセプションが開催され、約900名の招待客が出席しました。会場には、各国外交団、経済界関係者、文化関係者、在留邦人関係者など幅広い層が集い、盛大な雰囲気の中で実施されました。

当日は、日本企業や地方自治体等による展示ブースが多数設けられ、日本の産業、技術、文化、観光資源、食の魅力などを多角的に紹介する場となっていました。各ブースでは、それぞれの特色を生かした展示や紹介が行われ、来場者が日本各地の魅力や日本企業の強みを視覚的に感じられる構成となっていました。



写真1：レセプションの様子（2026年2月／大使館撮影）



写真2：レセプションの様子（2026年2月／大使館撮影）

また、会場では日本の伝統文化を紹介する演出も行われ、茶会のデモンストレーションや華道の展示などが実施されました。こうした文化的要素が加わることで、単なる展示や交流の場にとどまらず、日本文化の繊細さや美意識に直接触れることができる機会となっていました。会場入口付近には日本が誇る最先端の自動車・二輪車が展示され、来場者の関心を集めていました。さらに館内では、家電製品、伝統工芸品、アニメ・ゲーム関連コンテンツなど、多岐にわたる分野の展示が行われ、日本の先端技術と文化的魅力の双方を発信する内容となっていました。



写真3：レセプションの様子（2026年2月／大使館撮影）



写真4：レセプションの様子（2026年2月／大使館撮影）

飲食面においても、日本の多様な食文化を体験できるよう工夫が凝らされていました。会場では、たこ焼きといった日本各地の郷土料理が提供されたほか、日本産米を用いた寿司も振る舞われ、来場者は日本ならではの食の魅力や、味覚を通じて楽しむことができました。加えて、多彩な日本酒等の酒類も提供され、日本の食文化の幅広さや奥深さを感じられる内容となっていました。

このように、本レセプションは、祝賀行事としての性格を有しつつ、日本の産業、伝統文化、地域の魅力、食文化などを総合的に紹介する機会となっており、来場者に対して日本の多面的な魅力を発信する場として大変充実した内容となっていました。



写真5：レセプションの様子（2026年2月／大使館撮影）



写真6：レセプションの様子（2026年2月／大使館撮影）

3 愛知県ブースの出展内容

当該レセプションにおいて、愛知県は独自の展示ブースを出展し、本県が有する産業力、観光資源、食の魅力、さらには今後県内で開催を控える国際スポーツ大会など、多面的な魅力を来場者に発信しました。ブースでは、視覚的な展示に加え、試飲や飲食の提供も行うことで、来場者が愛知県の特徴をより身近に感じられる構成としました。主な出展内容は次のとおりです。

(1) アジア競技大会及びアジアパラ競技大会の広報

2026年には、愛知・名古屋を舞台として、第20回アジア競技大会（2026年9月19日から10月4日までの16日間）及び第5回アジアパラ競技大会（2026年10月18日から10月24日までの7日間）が開催される予定です。本レセプションでは、これら大会の開催を広く周知するため、中国語・英語・日本語の各種パンフレットを配布するとともに、PR動画を放映し、来場者に対して大会の概要や開催意義を紹介しました。また、ピンバッジを配布することで、来場者が大会を身近に感じられるよう工夫し、開催機運の醸成と認知度向上を図りました。

(2) 県内企業製品の試飲提供

愛知県内に本社を置く企業の製品として、マルサンアイ株式会社（本社：岡崎市）の豆乳及びカゴメ株式会社（本社：名古屋市）の「野菜生活100」を来場者に試飲提供しました。これにより、愛知県が有する食品産業の一端を紹介するとともに、日本の品質管理の下で製造された飲料の味わいや親しみやすさを体感していただく機会となりました。試飲を通じて、来場者との自然な会話も生まれ、県産品や県内企業への関心喚起にもつながりました。

(3) 県内企業製品の展示

県内企業であるノリタケ株式会社の食器を展示しました。ノリタケ製品は、洗練されたデザイン性と高い品質を兼ね備えており、愛知県が世界に誇るものづくりの一例として来場者に紹介することができました。こうした展示は、単に製品そのものを示すにとどまらず、本県に蓄積された製造技術、意匠性、品質へのこだわりといった、愛知県産業の強みを視覚的に訴求する機会となりました。

(4) 観光パンフレットの配布

観光面では、愛知県内の主要観光地や地域資源を紹介するパンフレットを配布しました。パンフレットでは、ジブリパークをはじめとする話題性の高い観光スポットに加え、名古屋めしなどの食文化も紹介し、本県の多彩な観光魅力を発信しました。これにより、来場者に対して、愛知県が産業県としての側面のみならず、観光や食の面でも豊かな魅力を有する地域であることを印象づけることができました。

(5) 名古屋めし（手羽先）の提供

飲食提供では、名古屋めしを代表する料理の一つである手羽先が、大使館の協力により提供されました。来場者には、愛知県ならではの特色ある味覚を実際に楽しんでいただくことができ、食を通じた本県 PR の効果的な機会となりました。手羽先は知名度が高く、来場者の関心を引きやすいことから、ブースへの誘引にも寄与し、その後の観光パンフレットの配布や企業製品の紹介へとつなげる導入的役割も果たしました。

以上のとおり、本ブースでは、スポーツ、産業、ものづくり、食、観光といった愛知県の幅広い魅力を、視覚的・体験的に発信することができました。特に、開催を間近に控えたアジア競技大会及びアジアパラ競技大会については、多国籍の来場者に対して直接紹介することができたことから、本県及び開催地としての愛知・名古屋への関心喚起と認知度向上に一定の効果があったと考えられます。



写真7：レセプションの様子（2026年2月／大使館撮影）



写真8：レセプションの様子（2026年2月／筆写撮影）

4 終わりに

本レセプションは、大使館発表によれば約900名が来場した大規模な行事であり、多様なステークホルダーが一堂に会する貴重な機会となりました。このように、多方面に影響力を有する来場者が集まる場において、愛知県が独自ブースを出展し、本県の有する多面的な魅力を直接発信できたことは、県のプレゼンス向上に大きく寄与したものと考えられます。

特に今回の出展では、2026年に愛知県にて開催を控えるアジア競技大会及びアジアパラ競技大会に関する広報を実施するとともに、県内企業製品の紹介、観光パンフレットの配布、名古屋めしの提供などを通じて、スポーツ、産業、ものづくり、食、観光といった愛知県の幅広い魅力を総合的に発信することができました。単一のテーマにとどまらず、複数の切り口から本県を紹介できたことで、来場者に対して愛知県への理解と関心をより立体的に深める機会になったといえます。

また、レセプションのような国際色豊かな交流の場においては、短時間であっても直接対面で情報発信を行うことに大きな意義があります。パンフレットや映像、試飲・試食、展示物などを組み合わせた今回の出展は、来場者の視覚や味覚に訴える内容となっており、単なる資料配布に比べて、より印象に残る形で愛知県の魅力を伝えることができました。こうした体験を伴う PR は、本県の認知度向上に加え、今後の観光誘客や県産品・県内企業への関心喚起にも資するものとなります。さらに、アジア競技大会及びアジアパラ競技大会について、多国籍の来場者に対して開催情報を直接紹介できたことは、開催地としての愛知・名古屋の存在感を高める上でも有意義でした。大会開催前の段階から、こうした場を活用して継続的に情報発信を重ねていくことは、国際大会に向けた機運醸成や開催地の認知向上を図る上で重要であると考えられます。今回の出展を一過性の広報機会にとどめることなく、今後も愛知県の認知度向上、県産品・県内企業の PR、観光誘客、さらにはアジア競技大会及びアジアパラ競技大会の開催に向けた機運醸成へと着実に繋げていくことが重要です。

愛知県上海産業情報センターとしても、こうした取組について、今後も継続的な情報発信に努めてまいります。

【最近の中国内の主なニュース】

3月5日 2026年の実質 GDP 成長率目標は 4.5~5%

第 14 期全国人民代表大会（全人代）第 3 回会議が 3 月 5 日に開幕した。2026 年の実質 GDP（国内総生産）成長率の目標を「4.5~5%」とした。25 年の「5%前後」から引き下げられた。

本資料は、上海産業情報センターが、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。